

タイ教職員招へいプログラム (2022年1月～2月：オンライン開催)

実 施 要 項

1. 背景

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)は、ユネスコの基本理念に基づき、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現に資するため、アジア太平洋の人々と協働し、教育と文化の分野において地域協力・交流活動を推進しています。

ACCUは2001年より、未来を担う子ども達に影響力を持つ教職員を対象とした国際交流事業を実施しています。本事業は、教職員同士の交流を通して、お互いの国の教育制度、教育事情および文化について相互理解を深め、教職員自身が主体的なチェンジメーカーとして変容していく端緒を開き、ひいては多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現を目的としています。ACCUの教職員国際交流事業における日本のパートナー国は、2001年から韓国、2002年から中国、2015年からタイ、2016年からはインドが加わり、現在4ヶ国と連携、東アジアから東南アジア、南アジアに交流国を広げています。開始当初より現在までに、海外教職員は4ヶ国合わせて4,100人以上、日本教職員は1,100人以上が海を渡り、教育現場が舞台の国際交流を通して、これらの国々の相互理解と友好の増進に大きく貢献してまいりました。

日本とタイとの間の国際交流事業としては、2015年より「タイ教職員招へいプログラム」が文部科学省、タイ王国教育省(MoE)の協力のもとで始まりました。第7回となる今年度は、2022年1月29日(土)から2月7日(月)までの期間、タイの初等中等教育教職員15名をオンラインで招へいし、交流プログラムを実施します。

2. 目的

- (1)本プログラムでは、3.の活動を通して、教職員が互いの教育制度、教育事情および文化について相互理解を深めるとともに、多様性への理解と尊重を育みます。その学びを参加者が自身の教育活動を通して次世代に伝え、ひいては多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現につなげることを目指します。
- (2)本プログラムには、ゲスト講師および参加者の一部に過去に教職員国際交流プログラムに参加した経験者が加わります。プログラムの参加者同士の「横のつながり」のみならず「縦のつながり」を重視し、持続可能なネットワークの形成とプログラム参加後の教育実践及びその共有の活発化をねらいます。
- (3)第2日～6日のプログラムには、タイをはじめとした海外教職員との国際交流に関心のある日本教職員が、見学および質疑応答等一部の活動に参加してタイ教職員と交流します。タイ教職員に対してより多様な立場から知見が共有されること、日本教職員に対してプログラム参加の第一歩としての機会を拡充することを目的とします。

3. 活動内容

ウェブ会議システムを活用し、以下の活動を行う。

- ・ 日本の教育制度や関連事項についての講義受講
- ・ ACCUおよびゲスト講師によるワークショップ
- ・ 参加者の教育実践におけるアクションプランの作成・共有

4. 日程

本プログラムは、下記の日程で実施される予定です。

日次 (JST)	日程	通信拠点	活動
2022年1月	第0日	東京都	過去のプログラム参加者向けオリエンテーション (対象者：5名)
1月29日(土) 15:00-17:00	第1日	東京都	開会式・全体オリエンテーション 日本の教育事情に関する講義の受講

初 等 中 等 教 職 員 国 際 交 流 事 業

—			教職員国際交流プログラムへの参加経験をもつ ゲスト講師によるワークショップ・交流（全4回） 「地域、校種、教科をこえてともに考える “Think Globally, Act Locally” の教育実践」
1月30日(日) 15:00-18:00	第2～5日	東京都	【第1回】 岩田 智文 氏（愛知県江南市立西部中学校理科主任・ Microsoft educator expert fellow） キーワード：ウィズコロナ・アフターコロナの地域と 連携した理科教育、オンライン理科実験）
1月31日(月) 15:00-18:00			【第2回】 金澤 裕司 氏（北海道地方 ESD 活動支援センターESD アドバイザー／北海道羅臼高等学校非常勤講師） キーワード：環境教育・自然体験、地方における SDGs・ ESD を含む実践の共有化
2月1日(火) 15:00-18:00			【第3回】 仲田 郁子 氏（國學院大學栃木短期大学准教授） キーワード：家庭科教育（生活文化・生活設計）
2月2日(水) 15:00-18:00			【第4回】 武田 國宏 氏（徳島県上板町立高志小学校前校長） キーワード：総合的な学習の時間を核にした教科横断 的な学び、地域資源の教材化と地域との連携、SDGs、 価値変容、行動変容
—	—	—	アクションプラン作成（各自）
2月4日(金) 12:00-14:00	—	東京都	アクションプラン相談会（自由参加）
2月7日(月) 15:00-18:00	第6日	東京都	アクションプラン共有会 閉会式
2-3月	—	—	アクションプランの実施および報告

※状況に応じて、予定を変更させていただく場合もございます。

5. 通訳

プログラム期間中は、原則として日本語⇄タイ語の逐次通訳が手配される。日本語の動画にはタイ語字幕がつけられる。

6. 参加者数

(1)タイの初等中等教職員 15名

(うち5名は、2015年から2019年に日本を訪問した参加者とする)

※タイ教育省職員はオブザーバー参加とし、上記の参加者数には含まない

(2)日本の初等中等教職員の見学者 一日あたり5名以内(公募による)

7. 参加資格

(1)タイの初等中等教育またはノンフォーマル教育センターの教職員(教育行政官及び教育専門家を含む)であること

(2)タイ国籍を有すること

(3)自身でオンライン交流に必要な機材を用意し、操作ができること(パソコンが望ましい)

(4)プログラムの全日程に意欲をもって参加が可能であること

(5)プログラムで作成したアクションプランを実施する教育現場を有すること

(6)過去に日本を訪問した5名の参加者については、プログラム期間中に自身の経験を新たな参加者と共有し、縦のつながりを強化する意思があること

8. 評価と報告

- (1)参加者は **2022年2月20日**までにアンケートを提出する。
- (2)参加者は **2022年3月6日**までにアクションプランの成果を報告する。

9. 注意事項

- (1)オンライン交流への参加にあたって必要な機材の調達、通信その他にかかる諸経費については、各自が負担することとする。
- (2)プログラム期間中および事前の円滑な情報共有および継続的な交流のため、参加者は、ACCUが運営する会員制SNS「Asia-Pacific Educator's Platform: TREE」への会員登録を行うこと。

10. 申請・推薦手続

タイ教育省はタイ側の参加者を選定し、**2021年12月20日(月)**までに、ACCUが規定する様式の参加者リストおよび参加者のデータシートをACCUへ提出することとする。

11. 個人情報の取り扱いについて

参加者の個人情報についてはプログラム運営・評価・フォローアップ以外の目的では使用せず、厳重に管理するとともに個人情報の保護に努めます。なお、プログラム中に撮影した写真等は、ACCUや文部科学省の報告書・冊子・ホームページ等の情報媒体に使用されることがありますのであらかじめ了承下さい。

12. このプログラムに関する照会先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター 国際教育交流部 担当:高松・伊藤
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32-7F 出版クラブビル
TEL:03-5577-2853 / FAX:03-5577-2854
Email: accu-exchange.ml@accu.or.jp